SDGs 宣言書

２０２６年７月２日
有限会社岩城工業
代表取締役　畔上　光広

当社は、SDGsの達成に向けて、後述の取組を含む社内外に好循環を生み出す取組を推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組およびその改善を、ここに宣言します。

環境

取組テーマ：	脱炭素・省エネの取組を通じ、環境負荷の低減に貢献します

＜具体的な取組内容＞

- 自社のエネルギー使用量を継続的に把握・管理し、運用改善によるエネルギー使用量の削減に取組む。
- SBT認証（温室ガス排出量54.6%削減）取得企業として、グリーン電力を活用し、CO_2排出量の大幅削減に務める。

＜関連のあるゴール＞



内部管理・組織体制

取組テーマ：	持続可能なサプライチェーンの構築に取組みます

＜具体的な取組内容＞

- 自社製品の原材料について、サプライチェーンを把握・管理し、安定調達およびリスク管理の高度化に努める。
- 原材料から最終製品に至るまでのトレーサビリティを維持・向上させることで、品質保証の強化および製品の信頼性向上を図る。

＜関連のあるゴール＞



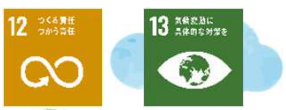
製品・サービス

取組テーマ：	環境負荷の低減に取組み、持続可能な社会の実現に貢献します

＜具体的な取組内容＞

- 取引先の環境配慮ニーズの高まりを踏まえ、グリーン鋼材等の環境負荷の低い原材料への切替に対応し、サプライチェーン全体における温室効果ガス排出量の削減に努める。
- 毎月のCO_2排出量を測定し、その結果を公表することで、排出量削減に向けた透明性の向上と継続的な改善活動を実施する。

＜関連のあるゴール＞



社会貢献・地域貢献

取組テーマ：	地域貢献活動を通じて、住み続けられる街づくりに貢献します

＜具体的な取組内容＞

- 地域の防災活動、自然保護活動へ積極的に参加し、地域社会との連携強化および持続可能な地域づくりに貢献する。
- 非常時においては自社のAEDやソーラー発電による電力を提供し、地域住民の安全の確保に努める。

＜関連のあるゴール＞



supported by 八十二長野銀行